

令和8年度 西白石小学校「学ぶ力」育成プログラム

広い視野に立って、合理的・創造的に考える資質・能力

学校番号：24013

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ◇【自校学力検査】算数の平均正答率が平均を上回っている。国語は、全国平均を下回っているがその差は縮まっている。 ◇【児童アンケート・保護者調査】保護者「お子さんは学校で楽しく毎日学習に取り組んでいますか」91% ◇【札幌市共通指標】「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。」89.1% ◇【札幌市 ICT 活用調査】「端末・アカウント・パスワードを適切に取り扱っている。」95.2% 「情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている。」93.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【自校学力検査】国語「読むこと」または「話す・聞く」が前年度より平均正答率が低くなっている。 ◆【札幌市共通指標】「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている。」76% 「読書が好きである。」70.9% ◆【札幌市 ICT 活用調査】家庭で端末を活用することで、学習が充実している。70.9%
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ◇【札幌市共通指標】「人に役に立つ人間になりたいと思う」94.3%など相互承認に関連する項目において、肯定的な回答が昨年度同様高水準。縦割り学級による異学年交流を実施し、子ども同士による相互評価の場を設定し、次への目標を明確にしていることが自己肯定感・自己有用感の高まりに寄与していると考えられる。引き続き、自分に自信をもてるような場や価値づけが重要となる。 	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

広い視野に立って、合理的・創造的に考える力

AAR サイクルの視点で捉え直した課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく自治的な活動の充実
<ul style="list-style-type: none"> ◇研究主題「自分の思いや考えをもち、言葉で伝える子の育成」の実現 →子どもの学習能力を鑑み、思いを大切にしたい視点を授業構築 →子どもが動き出すためのイントロダクションや適切な教師の関わりについて →子どもが見通しをもち授業に取り組める単元構成 →体験を通して獲得した、知識・知恵・「成就感」「経験」を大切にし、次の学習に生かす ・児童の思考や志向の傾向を分析し、次の授業構築へ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇よりよい学級にするための学級活動の充実 →学級の様々な課題を議題にした学級会の実施 →計画と報告を発表する場づくり ◇行事や縦割り活動などを利用した相互承認 →「にじいろタイム」で、下の学年の児童には、憧れの気持ちを醸成させ、上の学年の児童には、「自己肯定感」「自己有用感」を育成する ◇生活を振り返る場の設定 →委員会活動・学級会などを利用した振り返り ◇さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
<ul style="list-style-type: none"> ◇課題探究的な学習の推進では、複数のツールの中から適当なものを、児童自ら取捨選択できるような環境を整備するよう取り組む。 ◇自治的な活動の充実に向けて、パートナー校との連携のためにオンラインミーティングの機会を作り、子ども同士の声をつなげられるようにする。 	

〈本プログラムの実行に向けて〉

新年度

- ◇本プログラム共有
- ・職員会議・職員集会
- ・パートナー校間研修

〔一人一人の教職員〕

- ◇日常の授業・教育活動
- ◇各自の研修…札教研、年次研修等

〔学校全体〕

- ◇実践交流/校内研修
- ◇子どもの育ちを共有
- ・学年研修、パートナー校

次年度へ

- ◇学校評価
- ◇成果と課題を共有